

ボウリング施設、設備及び競技用具認証規格

第4章ボウリングボール変更内容について

【変更経緯】

ワールドボウリングにおけるボール規格ルールの変更がなされた。
選手にとって重要である主な変更点は以下のとおりである。

- 10ポンド（4.53キログラム）を超える重量のボールは、ボールの上半分（指穴側）と下半分（指穴の反対側）の差が3オンス（85グラム）以内であることは変更ないが、フィンガーホールの左右（サイドウェイト）・前後（サム／フィンガーウェイトバランス）の差が3オンス（85グラム）以内となるように変更される。
- 指穴として使用するホールや窪みは5つ以下とし、フィンガー1本に対し1つ、サムホール1つに限られる。
あわせて、各指穴が同時にグリップングのために使用できること、投球中にグリップングのために使用していないホールはあってはいけないこととなる。
よって、バランスホールのドリル、コンベンショナルグリップ・フィンガーチップグリップの2列使用、親指を指穴へ入れない投球者における親指穴のドリル、これらが禁止となる。
- 本規格は2020年8月1日一部改正し施行されるが、2020年7月31日までは現状の規格を適用のため、バランスは3・1・1でバランスホールやコンベンショナルグリップ・フィンガーチップグリップの2列使用は可能である。

【移行期間】

- 2020年1月1日～2020年7月31日を移行期間とし、この期間中は新旧の規格で検査を実施する。（バランスホール有り・2列フィンガーホールの場合は旧規格検査、バランスホールが無いボールは新規格検査）

【現行および改定案について】

下記は各条における変更点の要約である。

- 第32条（素材）
 - ・材質→素材へ変更し、ボールを製造する際の詳細な説明が追加された。
- 第33条（重量とサイズ）
 - ・現行の第33条（重量）と第34条（寸法）が統合され、各数値の表現方法に軽微な変更がなされた

●第 34 条 (バランス)

・ 10 ポンド以上のボールにおいて、トップ／ボトムウェイトの差が 3 オンス以内であることは変更ないが、フィンガーホール(左右 (サイドウェイト)・前後 (サム／フィンガーウェイトバランス))の差が 3 オンス (85 グラム) 以内となるように変更される。指穴や窪みが全くないボールは、どの半球で計測しても 3 オンス (85 グラム) 以内となる。

●第 35 条 (ドリリング規格)

外観→ドリリング規格へ変更し、指穴として使用するホールや窪みは 5 つ以下とし、フィンガー1 本に対し 1 つ、サムホール 1 つに限られる。

あわせて、各指穴が同時にグリップングのために使用できること、投球中にグリップングのために使用していないホールがあってはならない。

現行記載されているバランスホールに関する文言が削除される。

●第 36 条 (表面)

関連する文言が追加された。

●第 37 条 (器具)、第 38 条 (補助用具)

現行の第 37 条 (ボールの表面) に記載されていた内容が第 37 条 (器具) および第 38 条 (補助用具) へ分けられ、表現の修正、取り外せる器具の条件が追加された。

●第 39 条 (硬度)

ボールの表面硬度→硬度へ変更し、計測時の室温が定められた。

●第 40 条 (クリーニング)

条文として追加された。

●第 41 条 (プラグ・デザイン・ロゴ・マーク)

条文として追加された。あわせてソリッドをプラグの代わりにせず、一度埋めなおして再度新しいソリッドを入れなおす旨を追加。

●第 42 条 トーナメント会場で計測されなければならない規格 (当日検量)

条文として追加された。